

追加資料 3

生駒市教職員組合との意見交換会

- 1 日 時 令和元年10月23日(水) 午後5時30分から7時30分まで
- 2 場 所 市役所 大会議室

3 主な意見内容

【授業時数の確保】

- ・ 授業時数の確保は以前から学校現場で検討し、十分確保できる。
- ・ 今年度から1コマ増やして、対応の準備をしている学校がある。また、小1・2年生や中学校は時数が増えないので、それを考慮しないで一緒に増やすのは疑問がある。
- ・ 校長会からの意見が出ていると思うが、その意見も考慮しているのか。

【夏期休業期間中の休暇取得、研修等への影響】

- ・ 変形労働時間制の導入が検討されている中(※)で、夏休みを短縮するのは時期尚早ではないか。また、教員は夏休みに自己研鑽しているので、その権利を奪うことになる。

(※)政府は10月18日、勤務時間を年単位で調整する「変形労働時間制」を公立学校で導入可能にすることを柱とした教職員給与特別措置法改正案を閣議決定した。

- ・ 夏休みは研修が多くあり、夏休みの最終週は休みを取れる時期である。
- ・ 自己研鑽のために自主的に研修に参加しているが、その機会が減ることになる。
- ・ 夏休みの最終週で運動会の計画・準備や2学期の準備をする。まとまった時間は教員にとって大事である。

【奈良市での夏期休業短縮について】

- ・ 奈良市では、今年度から短縮を実施しているが、2学期から時間数を変更し減らしていると聞いている。また、今現場に意見聴取(調査)をしているとも聞いている。(夏休み短縮の)教育的効果を確認してからでもいいのではないかと。慎重な進め方を望む。
- ・ 昨年度は奈良市の学校において、夏休みの短縮された期間は午前中授業で午後からいろいろできると考えていたが、実際は1日授業となった。(夏休み期間の)親と一緒に過ごす時間は大切である。登校することで生徒指導が必要になり、教員はその対応に追われることになる。

【熱中症等の懸念】

- ・ 夏の暑い時期での通学は生徒が疲弊する。
- ・ 暑さの中での登下校の対応が必要である。
- ・ 通学中の熱中症のリスクが高い。熱中症対策はどうするのか。

【部活動について】

- ・中学校では部活動の大会がある。大会へ参加する生徒は授業に出られないことで学習の機会を奪うことになるのではないか。
- ・金管クラブを担当している。夏休みの最後の一週間でやっと休める状況であったが、休めなくなる。また、ONとOFFが必要である。夏休みは児童が長期間のOFFにするいい機会だと思う。

【その他】

- ・夏休みを短縮することでコストが増える。そのコスト増分を補うため、他の教育費が減らされることはないのか。保護者は1週間早く児童が学校に行くことで、親の負担軽減になるので賛成するだろうが、こうした一部保護者の意見で決めないでほしい。
- ・そもそも普段の休憩時間がとれない。教師が元気でないと生徒に接していけない。生徒がいない時間しか教師が余裕を持って考える時間がない。
- ・現場での感覚と教育委員会との感覚が違うのではないかと感じる。
- ・7・8月の学校の状況を実際現場で確認していただきたい。一回の教育委員会の論議で結論づけることのないよう、時間をかけて慎重に進められるように願う。